

日時：令和元年10月9日（水） 13：30～16：00

場所：中川コミュニティセンター（三重県松阪市嬉野中川町927）

目的：水質事故対応に必要な知識、現地での対策方法を身につけるとともに、情報共有の重要性についての認識を高めることにより、迅速かつ適切な対応を行うこと。



参加者：32名（各機関職員）

三重県、四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、伊勢市、大台町、大紀町、水資源機構三重用水管理所、国土交通省蓮ダム管理所、三重河川国道事務所

講師：NPO法人自然エネルギー・環境協会 鶴田裕一氏

中部技術事務所環境共生課 河崎課長、石川係長

主催：三重四水系水質保全連絡協議会（事務局：三重河川国道事務所）

～水質事故対策訓練の写真（講義及び説明・実演）～

講義開始



油処理剤、油中和剤は使わない



油類の拡散防止対応



川幅に合わせ、オイルフェンス連結対応





## ～水質事故対策訓練の写真（実習）～

### ロープの連結実演



### オイルフェンスを展帳



### 簡易水質検査を説明



### 吸着マットの設置、撤去



### パックテスト(簡易水質検査)



### 電気伝導度計測で異状有無の確認



油の流出事故においては、下流への拡散を防止することが最優先です。交通事故などにより路面に流れ出た油は吸着剤を用い、水路に流出することを防止することが重要です。また、河川等に流出した油は拡散を防止すると同時に油の種類に応じた対応が必要です。簡易水質検査や電気伝導度計測から異状の有無・原因を突き止めることができます。

水質事故対応においては、迅速かつ適切な対応が被害の拡大を防ぎます。そのためには多くの知識が必要です。今回の訓練がその一助となれば幸いです。

(事務局)